

聖書通読一日一問

月 日 マルコの福音書 11:19-33

問題：私たちの祈りに神様が答えてくださることを願います。祈る前に他の人との関係をどのようにしたらよいでしょうか。

答え：

月 日 レビ記 27章

問題：この章で教えられた節を書いてください。

答え：

月 日 マルコの福音書 12:1-12

問題：このたとえ話の中で言われている息子はだれを指していますか。(マタイ 21:33 以下参照)

答え：

月 日 民数記 1章

問題：イスラエルの部族のうち、レビ以外で20歳以上の軍務につくことのできる人の総数は何人でしたか。

答え：

月 日 マルコの福音書 12:13-27

問題：人間が死んでよみがえってからは、地上での生活のように、めとったりとついだりするでしょうか。

答え：

月 日 民数記 2章

問題：次の部族は幕屋を中心にして東西南北のどちら側に宿営をしましたか。()の中の方角を入れてください。

答え：ユダ() ルベン() エフライム() ダン()

月 日 マルコの福音書 12:28-44

問題：すべての戒めの中で一番大切なものは何ですか。また二番の戒めは何ですか。

答え：

いのちのことば社の一日一問を参考にしています。

喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者と
いっしょに泣きなさい。ローマ
人への手紙2:15

人は誰にでも、嬉しい時や悲しい時、また寂しい時があると思います。その時あなたは、誰とその気持ちをつかち合っていますか。人の喜びをねたまず、悲しんでいる人に安易な気休めを言わず、寂しい時には、あなたのそばに立って、一緒に笑い、一緒に泣き、無理なアドバイスするよりは、ただあなたの話を聞いてくれる友。あなたにはそのような友がいますか。私にはいます。その友はイエスキリストです。イエス・キリストの語ったことばに、次のようなことばがあります。すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。マタイの福音書 11章28節
この世の中、疲れた人や重荷を負っている人と一緒にいたいという人は、どれぐらいいるでしょうか？しかし、イエスさまは、疲れた私に、重荷を負っていた私に、心に憤りをもって悩んでいた私に、障害を持ち苦しんでいた私に手をさし伸ばされる友でした。あなたも、イエスキリストと友になってみませんか。

礼拝のご案内

日曜礼拝(日曜日)

11:00~12:00

韓国語礼拝(木曜日)休

11:00~12:00

水曜礼拝(水曜日)休

11:00~12:00

2022年 8月21日

390

聖書キリスト教会

伊勢崎聖書キリスト教会



伊勢崎聖書キリスト教会
伊勢崎聖書キリスト教会
伊勢崎聖書キリスト教会

〒372-0855
群馬県伊勢崎市長沼町2166-4
TEL/FAX 0270-55-3177
japanese0691@gmail.com

牧師 かん よんろく
姜 永禄

礼拝の順序

司会：姜 永禄
説教：姜 永禄

賛美&祈り アルニオン賛美チーム

招 詩 詩篇100篇

新 聖 歌 37

主の祈り

聖 書 第一ヨハネの手紙 1：1-4

説 教 「私たちの交わりとは」

賛 美 礼拝者

献金祈禱 説教者

祝 禱 説教者

報 告

敬称略

献金は自由献金です。

詩篇100篇

全地よ。
主に向かって喜びの声をあげよ。
喜びをもって主に仕えよ。
喜び歌いつつ 御前に来たれ。
知れ。主こそ神。
主が私たちを造られた。
私たちは主のもの
主の民その牧場の羊。
感謝しつつ 主の門に
賛美しつつ その大庭に入れ。
主に感謝し御名をほめたたえよ。
主はいつくしみ深く
その恵みはとこしえまで
その真実は代々に至る。

主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名をあげめさせたまえ。御国を来たせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みに会わせず悪より救いいただいたまえ。国と力と栄えとは、限りなく汝のものなればなり。

アーメン

報告&お知らせ

- 1、本日、はじめていらっしゃった方々を心から歓迎いたします。
- 2、コロナの拡散を防ぐ対策として、日曜学校、水曜礼拝、韓国語礼拝をしばらく休みます。
- 3、教会のエアコンが直るまで、はしばらく牧師館で礼拝を行います。
- 4、礼拝は教会とオンラインで同時に行います。

祈りの課題

- 1 教会に属している方々の健康と安全、平安のために。
- 2 子どもたちが、御言葉の中に育つように。
- 3 コロナの広がりが抑えられ一日も早く終息するように。
- 4 医療従事者、福祉施設で働く方々の健康が守られますように。
- 5 全世界の教会が安心して礼拝の恵みにあずかることが出来るように。